

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## アイカ工業株式会社（証券コード:4206）

### 【据置】

長期発行体格付  
格付の見通し

A +  
安定的

### ■格付事由

- 樹脂系建材大手。樹脂・接着剤の合成技術をベースに、化成品及び建装建材を手掛ける。建装建材では高意匠や高機能を強みとしてメラミン化粧板を中心に国内トップの地位にある。近年はアジア圏を中心とする成長を取り込むべく、海外事業の拡大に注力している。化成品では事業の中核を担うアイカ・アジア・パシフィック・ホールディンググループにおいて中国やマレーシアなどで製造能力を高めているほか、建装建材でも日本で培った高い製品開発力をいかして販売強化を進めている。直近では25年12月にインドの大手メラミン化粧板メーカーである Stylam の買収を発表し、同国における事業基盤の強化を図る方針である。
- 好業績を維持している。主力の国内建装建材では成熟化が進む市場においても着実に売上を伸ばしている。特にセラルールセレント（高意匠不燃化粧板）やスマートサニタリー（造作風洗面化粧台）など高付加価値商品の拡販が進んでいる。化成品を含む国内の主要製品については、原材料高に対する価格転嫁やコストダウンを通じて高い収益性を維持できている。一方、海外事業は中国を中心に市況低迷などの影響を受けている。ただ、今後の需要増を見据えた設備増強やM&Aによる商圏拡大が図られていることを踏まえれば、中長期的に利益貢献は高まっていくとJCRは考えている。良好な財務構成にも変化はみられない。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 26/3期の営業利益は290億円（前期比5.8%増）と5期連続で過去最高益更新が見込まれる（26年2月公表時点）。国内建装建材が連結業績を牽引する見込み。27/3期は原油価格の高騰など事業環境の不透明感が強まっているが、これまでも取り組んできた価格転嫁や高付加価値化の継続、インドを含む海外における事業基盤の強化などにより、業績は底堅く推移するとJCRは予想している。
- 26/3期第3四半期末の自己資本比率は59.3%（25/3期末60.2%）であるなど、良好な財務諸指標が維持されている。需要が増加している製品群では逐次生産能力を拡大しているが、事業からのキャッシュフローで十分カバーできている。インドのM&Aは取得価額が300億円前後と比較的大型案件となるが、手元資金の状況などからみて、財務面への影響は限定的とJCRは判断している。

（担当）藤田 剛志・村松 直樹

### ■格付対象

発行体：アイカ工業株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年4月9日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義  
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「化学」(2022年6月15日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) アイカ工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル